

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成30年12月27日(2018.12.27)

【公表番号】特表2017-536135(P2017-536135A)

【公表日】平成29年12月7日(2017.12.7)

【年通号数】公開・登録公報2017-047

【出願番号】特願2017-545855(P2017-545855)

【国際特許分類】

C 12 M 1/00 (2006.01)

C 12 Q 1/06 (2006.01)

C 12 M 1/34 (2006.01)

【F I】

C 12 M 1/00 C

C 12 M 1/00 Z

C 12 Q 1/06

C 12 M 1/34 B

C 12 M 1/34 D

【手続補正書】

【提出日】平成30年11月15日(2018.11.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

微生物の増殖又は貯蔵のためのデバイスであって、

a) 第1層の表面の第1部分を含む第1層であって、前記部分に第1の粘土を含む第1の水膨潤性ゲル化剤が固着されている、第1層と、

b) 前記第1層から分離可能であり、第2層の表面の第1部分を含む、第2層であって、前記部分に第2の水膨潤性ゲル化剤が固着されている、第2層と、を含む、デバイス。

【請求項2】

前記第1層が、前記表面の第2部分を更に含み、前記第1層の前記第2部分が、第1層、接着剤、剥離ライナー、ダム、又はこれらの組み合わせを含む、請求項1に記載のデバイス。

【請求項3】

前記第2の水膨潤性ゲル化剤が第2の粘土を含む、請求項1又は請求項2に記載のデバイス。

【請求項4】

前記第1の粘土が、少なくとも1種の小板形状を備える、請求項1～3のいずれか一項に記載のデバイス。

【請求項5】

前記第1の水膨潤性ゲル化剤が接着剤によって前記第1層に固着され、前記接着剤は前記第1層の表面の第1部分のみに配置されている、請求項1～4のいずれか一項に記載のデバイス。

【請求項6】

前記第1の粘土が、未変性ヘクトライト、有機変性ヘクトライト、又はこれらの組み合わせを含む、請求項1～5のいずれか一項に記載のデバイス。

**【請求項 7】**

第1層、第2層、又はその両方の上に配置された指示薬を更に含み、上記指示薬が、塩化トリフェニルテトラゾリウム( T T C )を少なくとも 0.5 mg / cm<sup>2</sup> の量で含む、  
請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載のデバイス。

**【請求項 8】**

微生物の増殖又は貯蔵のためのデバイスを製造する方法であって、  
表面を備える第1層を提供する工程と、  
第1の粘土を含む第1の水膨潤性ゲル化剤を前記第1層の表面の第1部分に固着する工程と、

表面を備える第2層を提供する工程と、

第2の水膨潤性ゲル化剤を前記第2層の表面の第1部分に固着する工程と、

前記第1層を前記第2層に積層する工程と、を含み、前記第1の水膨潤性ゲル化剤は、少なくとも部分的に前記第2の水膨潤性ゲル化剤と接触する、方法。

**【請求項 9】**

前記第1の水膨潤性ゲル化剤を前記第1層に固着する工程が、接着剤の層を前記第1層の表面上に配置することと、前記第1の粘土より疎水性の高い材料を前記第1層の第2部分を覆って配置することと、前記接着剤層を前記第1の水膨潤性ゲル化剤でコーティングすることと、を含む、請求項8に記載の方法。

**【請求項 10】**

前記第1の水膨潤性ゲル化剤を前記第1層に固着する工程が、接着剤の層を前記第1層の表面の前記第1部分上に配置することと、前記接着剤層を前記第1の水膨潤性ゲル化剤でコーティングすることと、を含み、

前記第1層の表面の第2部分上に配置された前記第1の水膨潤性ゲル化剤のうちの少なくともいくらかを除去する工程を更に含む、請求項8に記載の方法。

**【請求項 11】**

前記デバイスを除染又は滅菌する工程を更に含み、前記除染又は滅菌する工程が、10 kgy ~ 50 kgy の線量の電離放射線への曝露を含む、請求項8 ~ 10のいずれか一項に記載の方法。

**【請求項 12】**

試料中の少なくとも1種の微生物を検出及び計数する方法であって、  
請求項1 ~ 7のいずれか一項に記載のデバイスを提供する工程と、  
前記第1層を前記第2層から分離する工程と、  
少なくとも1種の微生物を含有する試料のアリコートを前記第1の水膨潤性ゲル化剤又は前記第2の水膨潤性ゲル化剤に添加して、接種されたデバイスを形成する工程と、  
前記第1層を前記第2層に再度積層する工程と、  
前記接種されたデバイスをインキュベートする工程と、を含む、方法。

**【請求項 13】**

前記アリコートの添加後、前記第1層を前記第2層に再度積層する前に、前記第1のゲル化剤が混合されない、請求項12に記載の方法。